

## 平成 30 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 30 年 7 月 4 日

学 長 殿

所属部局・職名 経済経営学類・准教授

申 請 者 名 荒 知 宏

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学会参加</span> ) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	国際学会(14 <sup>th</sup> Asia Pacific Trade Seminars)での学会報告
事業実施期間	平成 30 年 6 月 29 日 ~ 平成 30 年 6 月 30 日
成果の概要	<p>平成 30 年 6 月 29 日、30 日にかけて、香港の香港技科大学で開催された第 14 回 Asia Pacific Trade Seminars (APTS) にて、研究論文 ``Tariffs, Vertical Oligopoly and Market Structure'' を報告した。当日は主に中国や香港、日本、シンガポールといった東アジアの大学の研究者を中心に、約 40 名の研究者が集まって、各々が研究報告を行った。今回、私が報告した論文は豪州の University of New South Wales の Arghya Ghosh 教授および経済産業研究所 (RIETI) の張紅咏氏との国際共同研究で、この 1 年間特に精力的に取り組んで来たものである。報告後には何人かの参加者から有益なコメントをいただくことができ、共同研究者の張紅咏氏も同席していたので、今後の方向性について相談をして、どのような面で改訂ができるのかについて検討を重ねた。話し合いの結果、これらのコメントが①比較的すぐに対応できることと、②比較的時間がかかること、③時間をかけても対応できそうもないこと、の 3 つに大別されることが分かった。我々はあまり先延ばししても仕方がないという結論に達し、差し当たっては比較的すぐに対応できる①に取り組む、遅くとも今年中には研究論文を査読付きの国際学術誌に投稿することになった (他の 2 つの課題については、投稿後に時間をかけて少しずつ進めていく)。そして、最終的には国際学術誌に研究成果を公刊できるように、精査するための更なる努力を重ねて行くつもりである。なお、この学会で報告した論文および報告資料は私のホームページに公開してあるので、参照されたい。</p> <p><a href="https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~e124/VO.pdf">https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~e124/VO.pdf</a></p>

<https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~e124/VO-slide.pdf>

最後になったが、今回の助成により、学会報告を通じて、より研究成果の質を上げることができる貴重なきっかけを与えていただいたことに対し感謝申し上げたい。